

保護者の皆様へ

学校だよりでは、12月の集金を予定しておりましたが、1月に集金させていただきますので、12月の集金はありません。

PRIDE～誇り～

6年学年だより

2022年 12月7日

11月の生活目標は、「ぼかぼか言葉をつかおう」でした。自分自身と友だちとの関係を見つめ直す機会とするために、北小全体で人権学習に取り組みました。6年生は、「はせがわくん きらいや」の教材に取り組みました。私たち一人ひとりにはちがう個性（以下「もちあじ」）をもっています。教材に出てくる長谷川くんとぼくもちがうもちあじをもっています。そんなちがうもちあじをもっている2人の様子をぼくの目線から考え、「ぼくは本当に長谷川くんのことがきらいなのだろうか？」という問いから自分自身の友だちとの関係を振り返っていきました。以下は授業後の子どもたちの感想です。

- ・「自分の行動をふりかえって、人それぞれ個性（もちあじ）はあるのに、自分とちがうだけで、『なんでこんなこともできないのだろう』とっていました。そんなふうに思わずに、できないことがあればコツを教えてあげたり、自分も苦手なことがあれば教えてもらったりしようと思いました。」
- ・「自分がもし長谷川君の立場やったら、『なんでそんな反応されてるんやろ』って思います。だから、自分も他の人に対してそんな反応をとってはダメだと思いました。」
- ・「いろんな人がいる中で、性格や個性も色々だと思えます。だから、その人の個性をばかにするのはよくないと思いました。」
- ・「相手の気持ちを考えずに行動していた自分がいたと思います。性格が合う、合わないはあると思います。でも、そこで嫌な態度をとったり、相手をばかにしたりする態度をとってはダメだと思いました。」
- ・「自分とちがう人がいたとしても、ちがいがあることは当たり前だと思ったので、お互いの個性を認めていこうと思いました。」
- ・「自分は『何なんあの人。』って心の中で思うかもしれないです。でもそれは、自分がされたら傷つくことやし、できないことがもっと悔しくなるなと思いました。だから、自分の行動や態度は、しっかり考えないとダメだと思いました。」
- ・「人それぞれ好きなものもちがうし、髪色もちがうし、言葉づかいもちがうし、一緒の人なんていないから、ちがいを認めていくことが大切だと思いました。」
- ・「自分とちがって何かできなかったとしても、その人自身、挑戦してがんばっていることだと思うから、応援しようと思いました。」

今回、1・2年生は、「さきちゃんとおぼく」3・4年生は、「あの子」5・6年生は、「はせがわくんきらいや」の教材に取り組みました。他学年の感想は、学校ホームページのそれぞれの学年ページに掲載していますのでぜひご覧ください。これからも子どもたちと一緒に大切にしていきたいことをじっくりと確かめ合い、お家の方々とも共有していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。